

アジアで 急成長する電動二輪三輪バイク事業を拡大！

(株式会社 プロスタッフ)

会社概要(平成24年9月現在)

- 所在地: 愛知県一宮市丹羽字大森25番地1
- 代表者: 代表取締役 廣瀬 徳藏
- 資本金: 1億5,000万円
- 売上高: 非公表
- 従業員数: 95名
- URL: <http://prostaff-jp.com>

①事業概要

＜自動車用品の製造・販売＞

自動車用品の製造及び販売、芳香剤の製造及び販売、EV関連事業を行っており、事業のコアとして、カーケミカルとEV製品の二本立てで推進している。今後はさらに、次世代の環境に優しいのりもの社会を見据え、電動スクーターをはじめとするEV製品の普及に力を注いでいく。

②海外展開概要

＜中国における現地法人・工場設立＞

20年ほど前から、毎年中国の関連工場の見学へ行き市場調査をしていた。9年ほど前から中国のモノづくりの品質管理がしっかりしてきたため、そろそろモノづくりを中国に委託できそうだと感じていた。上海に事務所を持っていた同業者の自動車用品メーカーと上海へ行った際、偶然に航空機内で出会った現地の方から事業に関連する中国人の紹介を受け、その方とオートボックスやイエローハットの中国法人向け納品のための貿易会社を上海に設立し、日本からの輸出を開始した。

その後平成23年に上海で8,800平米のEV工場を設立。中国では契約締結において細部までこだわるため、工場建設合意までは大変苦労した。賃金や物価上昇まで勘案して契約を結ばないといけない。当初は日本人1名と現地スタッフ40名で立ち上げ、3年間かけて半製品を作り日本へ輸出し日本で最終製品化を行ってきたが、現在は現地で完成品までつくっている。中国で作った製品は、日本のほか韓国、フィリピン、台湾へと輸出している。台湾では規制が異なるため、現地の提携工場で製造販売している。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

「中国展開がなかったら会社の存続はなかったと思う。海外でよく感じるカントリーリスクや言葉の課題には、熱意と努力を持って対応することが必要。同じ人間であるし、現地での家族的経営も進めている。特に日本人は、勤勉さ、律儀さなどで高い評価を受けている。日本の勤勉なイメージを裏切らないようにすることが大切である。

チャンスを生かすためには、ただ待っていて机上で判断するのではなく、工夫して生かすようにすること。

現地で良いものをつくるなら、パーツの選定からやらないとうまくいかない。

日本のモノづくりの基準が現地でそのまま当てはまる簡単な話ではなく、現地を良く知って現地に合わせる必要がある。」と社長は話す。

④今後の事業展開について

フィリピンでは電動三輪車の普及プロジェクトの話が進んでおり、台湾では平成24年8月に現地の主要部品メーカーらと共に合併企業を立ち上げ、量産体制に入った。

海外展開を積極的に進め、国内に海外向けの企画開発のための人材を配置し、雇用も増えた。



(平成24年9月現在)

データ出所: 中部経済産業局